



International Program in Liberal Arts

第2回チューターガイダンス

高度教養教育・学生支援機構
グローバルラーニングセンター
末松和子



本日のアジェンダ

- 留意事項の確認
- 活動の充実にむけて
- これまでの活動の振り返り
- 帰国支援
- 来学期のチューター活動



留意事項① 留学生の支援

- 生活支援
 - 寮費、公共料金、国民健康保険等の滞納 →忘れがち
- メンタルヘルス
 - 学業不振、欠席、体調不良 (守秘徹底→相談)

生活が落ち着く頃にホームシックになる学生もいる。気になる変化は、早めの共有を。チューティーと2週間以上連絡が取れない場合は留学生課に連絡を！！

留意事項②チューター

参考（再掲）

- 活動内容：日本語学習支援、専門分野における学習支援、
生活適応支援（**支援活動のみ**謝金支給対象となる）
- 活動時間：週2時間程度の定期的な支援活動
★謝金支払いの対象となる活動の上限は原則**1学期あたり48時間**
(活動が謝金の支給対象となるかは活動報告書の内容をもとに判断)
★チューター活動は、日常的な学習・生活支援を主目的とするため
22時以降の深夜時間帯の活動は急を要する場合を除き控えてください。
- 謝金：1時間あたり1,000円 ※学部・大学院共通
支払いは学期ごと（後期分は翌年4月末）
- 活動報告：**活動日ごと**に報告書を入力のうえ提出

留意事項②チューター

参考（再掲）

＜活動時間・謝金＞

- 1回の活動時間は2時間を目安とすること
- 単なる娯楽、飲食など、自分も楽しむ目的の活動は謝金対象外
- 報告書の記載不備は謝金対象外となる場合があるので注意

＜留学生とコミュニケーションをとるポイント＞

- チューターから積極的にアウトリーチ
- すぐに連絡が取れる手段を確保（LINEなど）
- お互いの授業が確定したら、毎週のミーティングをルーチン化
- 支援が必要な時だけ会うのではなく、継続して活動する



留意事項②：チューター リマインド：報告書

「活動報告書をどの程度書いたらいいのかわからない」

＜参考＞

- ・第1回チューターガイダンス資料
- ・記入例

＜重要＞

活動内容が分かりにくい報告書（例：情報が少ない、その前の活動内容のコピペ）は、内容を確認させていただく場合があります。

報告書の提出はチューターの状況を確認するとともに、チューターのみなさんの状況も把握することになるので、具体的に記載してほしい



チューター活動支援

- ・チューター同士で悩みやアイデアを共有できる場がほしい
- ・チューター同士で頻繁に意見交換できる場が欲しい
- ・グループでの交流もしてみたいが、他のペアと知り合う機会がなかなかとれない
- ・活動を始めて2ヶ月ほど経ち留学生も慣れてきたように感じるため他のチューターと交流したり新しいことに触れられるよう工夫したりと刺激を与えられるようにしたいと考えているが方法はまだ模索中である



活動の充実に向けて

日本語学習支援（習熟度別・目的別）

初習～初中級者：

- 会話：
 - ・1週間のハイライトについて報告し合う
 - ・テーマを決めて話し合う（例：「自分の仲がいい友だち」、「家族について」、「自分が一番好きな祝日とその理由」、「思い出の旅行・お勧めの旅先」など）
- 読み書き：
 - ・主にひらがなで書かれている絵本と一緒に読む
 - ・1週間のハイライトを交換日記形式で報告し合う

★教科書を見せてもらう、テーマはお互いが話し合って決める



日本語学習支援（習熟度別・目的別）

中級～中上級者：

- ・ 会話：
 - ・ 1週間のハイライト（言い違えている表現をメモして後で教えてあげる）
 - ・ 意見が分かれるようなテーマを考え話し合う（例：中等教育機関での制服着用、成人・飲酒・喫煙・結婚・投票可年齢の違いやそれに対する賛否）
 - ・ 最近のニュース（最初は面白ニュースから）
- ・ 読み書き：
 - ・ 交換日記に加え、歌詞など分かりやすい文章から、簡単な小説と一緒に読む、その感想文を書いてもらうなど



日本語学習支援（習熟度別・目的別）

上級者：

- ・会話：
 - ・1週間のハイライト（言い違えている表現をメモして後で教えてあげる）
 - ・意見が分かれるようなテーマを考え話し合う
 - ・一緒に架空の調査やプロジェクトを企画する
 - ・時事問題（新聞記事を使って議論）
 - ・読み書き：
 - ・日本語能力試験、ビジネス日本語等の資格試験対策
 - ・作文を書いてもらい添削（対面で話をしながら。その際、訂正するだけでなく、「ではこれを使って他の表現を考えてみて」と知識の定着を確認
- ★ LINEやメールといったテキストのやり取りのみでは、活動として認められないので注意してください。

活動の充実に向けて

- 活動の輪を広げる支援
 - ・ IPLANETの交流活動
 - ・ サークル活動
 - ・ 地元のイベントと一緒に参加（フリーペーパー）
- ヘルプデスクの活用
 - ・ チューティーと一緒に行き、サポートを受けられる場として活用する
- 最近留学生と連絡が取れていない、会う約束をしてもドタキャンを繰り返す、授業に行けていない、などのケースは本人に許可を取つたうえで、大学に相談を！



帰国支援

<IPLA生向けサイト>

Leaving Procedures:

https://www.insc.tohoku.ac.jp/english/exchange/leaving_procedures/

- ・ 口座解約
 - ・ 区役所手続き
 - ・ 楽天モバイル Wifiなど
- **特に重要**

<チューター専用サイト>

<https://www.insc.tohoku.ac.jp/english/ipla-tutor/>

★最終発表会（2月3日）よりも早く帰国する学生は、協定校からのレターをもって事前申請する必要があるので、留学生に確認を！

★最終発表会後にIPLANETリーダー主催のお別れ会があるので、2月4日以降の帰国を推奨

振り返り： 留学生との交流で気付いたこと・悩んでいること

チューター活動内容編 <学習面：日本語初習者向け>

- ・日本語の授業で出された予習課題をチェックし、間違っているところを訂正した。「ようです」「そうです」など場合によってニュアンスの異なる言葉の説明に苦労した。
- ・一緒に昼食をとる中で、「いただきます」や「ご馳走様でした」などの挨拶を教えた。その後に、カフェにてAIを元に作成した日本語プリントを紹介した。外来語由来のカタカナの言葉を教えた。（アルバイトやカステラなどの単語）お会計や注文も留学生に機会を与えることで、日本語で積極的に話してもらえるようにした。
- ・B棟1階OCLラウンジにて支援を行った。日本料理の調味料や、「まろやか、濃い」など日本の味の表現について教えた。日本の和菓子について興味を持ってくれたため、購買に行き、実際に和菓子を見せて教えた。前回と同様わからない単語等は紙に書いて伝えるようにした。

振り返り： 留学生との交流で気付いたこと・悩んでいること

チューーター活動内容編 <学習面：日本語中級者以上向け>

- ・日本語ティーチングをしました。具体的には、日本語のオノマトペについて、チューーターの母国の言葉と比較しながら一緒に勉強しました。
- ・今回も、前回に引き続き自作のプリントで示しながら日本語や日本文化を説明した。初めに、日本の都道府県などの地理について簡単な日本語の文章で紹介した。次に、日本の教育制度（義務教育の年数など）を教え合い、スウェーデンでの仕組みも逆に教えてもらった。最後に、留学生の専攻に合い、興味を持ってもらえそうな日本の憲法について教えた。
- ・日本語のスピーキング練習のためドイツの産業、地政学的リスク、交通機関、EUの今後など他分野にわたるトピックについて英語を交えながら話しました。
- ・仙台駅で待ち合わせをし、仙台市内のカフェへ行った。その中で1時間程度日本語会話や生活の支援活動を行った。話した内容は日本と台湾の文化や学校生活の違いについてと、お互いにヨーロッパへ行ったことがあったためそこで経験など、比較的話しやすい経験の話題を選んだ。

振り返り： 留学生との交流で気付いたこと・悩んでいること

チューター活動内容編 <学習面：日本語中級者以上向け>

- 食堂で「みんなの日本語」のテキストを用いて、授業の復習とわからない問題や文法事項の質問に答えた。具体的には、会話文を交代交代で読んだり、復唱したりして発音を確認した。また、食べる、食べられるなど受け身や可能の文法事項の説明をしてあげた。実際に日常生活で使えそうな表現（連絡先を教えてくれない？など）を教えてあげた。
- 授業で習った表現（～から～まで、曜日等）を使って短い文を話してもらいました。先週覚えてもらった、家族という単語を復習しました。私の発言で教科書に載っていたもの（大変だね）を聞き取ることができ、リスニングの練習にもなったと思います。新しい語彙としても、いくつか教えました（週末、土日、はし、割りばし、富士山、山、くも、雲など）。友人に対してはありがとうございます、その他の人にはありがとうございますと言うことなど。日本のこととして、蔵王の樹氷やそばについても教えました。
- 学食で昼食を食べながら、「へ行きました」「と行きました」「で行きました」など午前の授業で習った日本語の文法を復習しました。



振り返り： 留学生との交流で気付いたこと・悩んでいること

チューター活動内容編 <コミュニケーション編>

- ・日常会話のロールプレイを行い、自然な日本語表現やイントネーションを練習した。
- ・最初に学食で一緒に夜ご飯を食べた。近況を報告し合い、IPLAイベントや授業での友達、ルームメイトなどとのお話を聞いた。また、日本語の授業で習った表現を復習した。具体的には、天気の表現をやり、今日の曇りの天気を表現できた。その後、日本語の宿題と勉強を手伝った。私の音読の後に続いて発音してもらい、正しい発音を身につけられた。また「残業」という単語が出てきたので、教えてあげ、それに関連して日本での残業を教えてあげた。
- ・川内の図書館で日本語の学習を支援しました。彼の日本語レベルを把握することから始めて、日常的に使える日本語の表現を教えました。
- ・日本語クラスで学んでいる内容を共有してもらった。そして、留学生課からリマインドがあった支払いに関して、彼女が無事に済ませているかを確認した。

振り返り： 留学生との交流で気付いたこと・悩んでいること

チューター活動内容編 <その他>

- ・寮の料金の支払いをするために仙台駅近くの77銀行に行った。ATMでの支払いの仕方を英語で説明した。その後、仙台駅周辺を案内し、どこに何があるのかを紹介した。衣服を購入する際、会計の仕方などを伝えた。会計時にどういった返答をすれば良いのか（例えば「ありがとうございます」）を教えた。
- ・川内郵便局で保険の支払いをサポートしました。その後図書館に行って、入場のしかたや注意点、館内の話せるスペース、予約が必要なスペース、飲食できるスペースなどを案内しました。その後北キャンパスの購買で、パッケージに書いてあることを説明したり、買い物のしかたを教えました。そして、B棟のICL Loungeで時間割について話しました。
- ・川内キャンパスにて、キャンパスツアーを行った。初対面だったため、自己紹介とキャンパスの説明を行った。その後、川内北キャンパスの学生食堂で昼食をとった。三条から川内までの交通手段についての話や、定期券についての相談に乗った。

振り返り： 留学生との交流で気付いたこと・悩んでいること

チューター活動内容編 <その他>

- ・日常の場面で日本語を使いながら教えると、理解が深まるし会話も自然に盛り上がる感じた。興味に合わせて説明すると、留学生も積極的に質問してくれて、支援していく有意義な時間になった。
- ・日本語での会話にも少しづつ慣れてきて、使用する単語や文法のレベルが上がってきていた。まだ店員さんとのやり取りやネイティブの日本人との会話では介助が多く必要だが、本人の日本語を使うハードルが下がってきていてとても良かった。英語だけで説明するのではなく、ちょっとづつ日本語の熟語や単語を混ぜていくことも必要だとチューターとして思った。
- ・携帯システムなどは日本語が母語でないとわかりにくいのだと気づいた。
- ・日本の携帯電話の契約やプランは意外にも複雑で、実際に私も今まで両親に任せていたため、自分が店員とやりとりするのも初めてだった。店員が言うことを英語で説明することは難しかった。
- ・手伝いはあまり必要ないと言われたのでどのようにアプローチしようか悩んでいる。



春学期(2026)チューター募集について

- 秋からの継続生36名
- 春学期（2026）申請者41名 *11/19時点

※合否判定前のため、実際の参加人数は未定

フランス、イタリア、アメリカ、シンガポール、台湾、スウェーデン、フィンランド、中国、スペイン、ドイツ、韓国、スイス、タイ、ベトナム、マレーシア、香港、アルゼンチン、イギリス、インドネシア、オーストラリア、オランダ、カナダ、ポーランド

【今後のスケジュール】

- ・合格発表(IPLA生へ)：1月初旬～中旬に通知予定
- ・12月中旬：チューター継続意思確認
- ・1月中旬～：チューター募集開始
→ IPLANETリーダーへ周知依頼 & GLCホームページ掲載
- ・2月上旬：チューター募集締切
- ・2月中旬～3月上旬：チューターマッチング・発表
- ・3月下旬～：チューティー渡日
- ・3月下旬～：チューター活動開始